

子どもたちに人気の TikTok(ティックトック)とは

最近テレビでも目にする機会が増え、子どもたちの間でも話題に挙がることの多い「TikTok(ティックトック)」。公式サイトでは「ショート動画配信アプリ」と説明されていますが、一体どのようなことができるサービスで、子どもたちにどのような影響を与える可能性があるのでしょうか。



どんなことができるの？

TikTok(ティックトック)は、主にスマートフォンから使うアプリで、自分で撮影した15秒間の短い動画に音楽や特殊効果を加えたものを、アプリの中で見せ合う(共有する)ことのできるサービスです。Youtube(ユーチューブ)などの動画サイトと比べて簡単に撮影や投稿することができるため、誰でも参加しやすいことから、主に子どもたちの間で人気が高まっています。ただ、公式サイト上の利用規約では、13歳未満の利用は禁止されています。

利用上で注意すべきこと

TikTok(ティックトック)自体は危ないアプリではありませんが、他のSNSと同様に、そこで公開する情報には注意を払う必要があります。TikTok(ティックトック)の投稿者の多くは、顔が分かる動画をそのまま投稿してしまっています。多くの人が見ていますので、顔が分かる動画を載せてしまうのは、動画の転用やネットストーカーなどのトラブルを招く原因になりかねません。

また、10代の利用者が多いサービスでは、コメント欄に好意的なコメントを書き込んで近付き、個人情報を知りたいとしたり、子どもを狙った悪い大人が紛れ込む可能性もありますので、子どもたちには注意するように伝えておく必要があります。



指導の要点

TikTok(ティックトック)は他のSNSよりも見るだけの要素が多く、「閲覧している」＝「個人情報の流出」のようなトラブルに直結することはありません。しかし、見るだけではなく投稿を始めると他のSNSと同様にトラブルのリスクが生まれますので、「世界中の人に公開されていること」や「インターネット上に投稿したものを取り消すことは難しい」といったインターネットの特性に関する指導をしておく必要があります。

また、TikTok(ティックトック)の投稿によるトラブルとして、公共の場での撮影マナーの悪さが指摘されることがあります。写真や動画を撮影する際は、公共の場では知らない人の映り込みに注意を払わなくてはなりません。知らない人が映り込んでしまうような状況での写真や動画の撮影をしない、知らない人が写りこんでしまった写真や動画をインターネット上に投稿しないなど利用マナーの話も子どもたちには繰り返し伝えるようにしましょう。